

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】平成 19 年 2 月 8 日 (2007.2.8)

【公開番号】特開 2005-168948 (P2005-168948A)
【公開日】平成 17 年 6 月 30 日 (2005.6.30)
【年通号数】公開・登録公報 2005-025
【出願番号】特願 2003-415973 (P2003-415973)
【国際特許分類】

A 6 1 B 6/03 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/03 3 7 0 B

【手続補正書】
【提出日】平成 18 年 12 月 14 日 (2006.12.14)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

被検者に X 線を照射する X 線源と、この X 線源に被検者を介して対向配置された X 線検出器と、周期的あるいは非周期的に運動する部位の生体センサ情報を収集する生体センサと、上記 X 線検出器によって検出し収集された撮影データから表示装置へ表示する断層像を再構成する画像処理装置とを備えた X 線 CT 装置において、上記画像処理装置に、上記生体センサで収集された生体センサ情報を元に上記部位の断層像を作成する第一の画像再構成手段と、収集された撮影データから上記部位の運動情報を抽出し、抽出された運動情報を元に上記部位の断層像を作成する第二の画像再構成手段と、上記第一の画像再構成手段によって作成された断層像が前記運動部位の所定時相の運動状態を示しているかどうか判定し、前記所定時相の運動状態を示していない場合に上記第二の画像再構成手段に前記所定時相の運動状態を示す断層像を再構成させる判定手段とを設けたことを特徴とする X 線 CT 装置。

【請求項 2】

被検者に X 線を照射する X 線源と、この X 線源に被検者を介して対向配置された X 線検出器と、周期的あるいは非周期的に運動する部位の生体センサ情報を収集する生体センサと、上記 X 線検出器によって検出し収集された撮影データから表示装置へ表示する断層像を再構成する画像処理装置とを備えた X 線 CT 装置において、上記画像処理装置に、上記生体センサで収集された生体センサ情報を元に上記部位の断層像を作成する第一の画像再構成手段と、収集された撮影データから上記部位の運動情報を抽出し、抽出された運動情報を元に上記部位の断層像を作成する第二の画像再構成手段と、を設け、上記表示装置が、上記生体センサ情報と、上記第一の画像再構成手段が使用する撮影データ範囲と、上記第二の画像再構成手段が使用する撮影データ範囲と、を同一画面上に表示することを特徴とする X 線 CT 装置。